

飯岡中新校舎が完成

新しい校舎での生活が始まりました

平成26年6月から改築工事を進めてきた飯岡中が、昨年12月に完成しました。生徒たちも3学期から真新しい校舎で学び始め、新たな飯岡中の歴史がスタートしました。

新校舎は緑豊かな地域にあり、校舎とグラウンドが一体になったため、生徒の安全面からとても良い環境になりました。外観は地域との調和を考慮し、飯岡保健福祉センターやいいおかふれあいスポーツ公園との一体感を思わせるデザインとしました。



地域との調和を考慮したデザイン

●校舎

管理・教室棟と特別教室棟で構成されていて、鉄筋コンクリート造り2階建てとなっています。生徒昇降口から入ると太いコンクリートの柱が見え、建物の頑丈さを感じることができます。



耐震面に考慮した太い柱

校舎内は「ゆとり」を感じられる広々とした造りで、内

装には木材を多用し、温かみのある仕上がりになりました。

●体育館

校舎とつながっていて、同じく鉄筋コンクリート造り2階建てになっています。以前の体育館に比べるとアリーナが大幅に広くなり、部室も1階に配置しています。2階には新しく武道場を設けました。



広く天井の高い体育館

●屋上避難場所

校舎屋上には緊急の避難に備え、屋外階段から上れる津波避難スペース約1,500人分を設けました。



避難スペースになる屋上

●グラウンド

200mトラック、野球場、サッカー場、テニスコートを効率よく配置しました。また排水対策としてグラウンド全面に暗きょ排水などを施してあります。

飯岡中に関するくわしい内容は、庶務課施設班(☎55-5722)まで問い合わせてください。



効率よく配置されたグラウンド

校長リレーエッセイ 19



「嚶鳴っ子」の成長を願って

嚶鳴小学校長
林 仁志

元旦の朝、早起きをして近くの海岸に初日の出を見に出掛けました。見に行くようになってから、今年でかれこれ15年くらいたつでしょうか。

今年の冬は例年に比べて暖かく、海岸に訪れた大勢の人たちの服装もやや軽めに感じられました。昇る太陽を目の前にして、いくつか願い事をしました。一番心を込めて願ったのは、本校の児童が昨年同様、いやそれ以上に豊かな心を育み、健やかに成長していくことです。

本校は、現在370人という多くの児童が在籍していますが、けがや病気で学校を欠席する児童は少なく、出席率が非常に高くなっています。もちろん長期に休む児童も一人もいません。明るく元気で、健やかな体を持っているといつてよいでしょう。

また友達に対して、優しい言葉掛けができる子、温かい励ましの言葉が言える子、素直に謝ることができる子も数多くいます。心の成長も日々の集団生活の中で着実に身に付けられています。

正面玄関前の石碑に「嚶鳴」の由来が刻まれています。

●「鳥鳴嚶嚶」…響き合う鳥たちの声

●「嚶其鳴矣」「求其友聲」…その鳴き声は友を呼ぶ声

石碑に刻まれている鳥たちのように、本校の児童も大勢の友達をつくり、互いに語り合い、学び合うことにより、自分自身をより高めていってくれると考えます。そして、学校全体が子どもたちの笑顔で活気に満ち溢れていくことを願ってやみません。